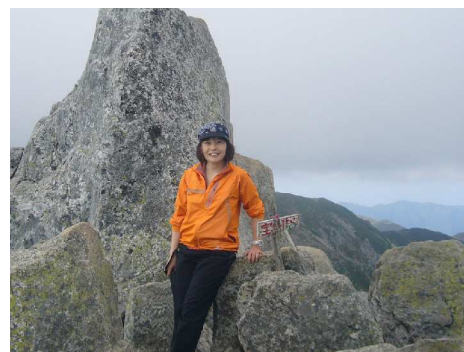


体験談レポート

ユーザー： C.Nさん(40代・女性) 千葉県
商品名： ニュウモラップジャケット
テスト日時： 2009年9月26,27日
アクティビティ： 登山(中央アルプス 木曽駒ヶ岳)
テスト環境： 曇り時々晴れ



~アウターとして使用。蒸れずに一日快適に過ごせた!~

6年前から会社の休みを利用してちょっとずつ日本海の親不知から太平洋まで南下するという中部山岳地帯縦走にトライしている。今回はその18回目、木曽の上松Aコース登山口から木曽駒ヶ岳までを繋ぐ1泊2日の山行である。

延々7時間かけて上部を目指すこのコースは4合目あたりまで鬱蒼とした桧林をジグザグひたすら登る。久しぶりのテント装備で少々バテ気味ながら、標高が上がるにつれ、色づき始めた稜線に次第に気持ちが高まって来る。前日に積乱雲が発生する不安定な天気、まるで夏の様な湿度になかなかニュウモラップを取り出す事が出来ない。ようやく8合目、稜線近くになって風が冷たく感じられる様になった。

ニュウモラップは防風性、透湿性と、保温性をかねた軽いミッドシェルであるが、今回はアウターとして使用してみる事にする。羽織って見るとふわりとした感触。とにかく軽い。雨具をウィンドブレーカー代わりにした時に感じる独特な蒸し暑さが殆どなく、歩いていてもほとんど汗ばまない。この日は結局、長袖1枚+このジャケットで日の沈むまで快適に過ごすことが出来た。これからの季節はアウターよりもミドルレイヤーとして活用する事が多いだろうが、逆にこの日の様に汗ばむ陽気であれば、薄手のフリースの代わりになりそう。何より嵩張らないし少々濡れても行動可能と言うのがポイント高い。来年の夏山テントではこれを持参してみようと思う。

夜半から雨になった。最初は通り雨かと思ったが、そのうち、稜線を吹き降ろす風とともに大きな雨粒となってテントを揺らし始めた。さすがに寒い。翌朝6時には撤収。千畳敷を目指して下山する。フリースの上にニュウモラップジャケットを重ね着した。

次回はミドルレイヤーとして、また雨の山行でも試してみたいし、普段のランニングでも使用してみたいと思う。

